

## 折に触れ 四字熟語

### NO. 134 『美意延年』 びい えんねん

< 意味 > 心を楽しませて、つまらないことにくよくよしなければ、おのずから長寿を保つことができること。

出典：『荀子』致士

『得衆動天、美意延年、誠信如神、夸誕逐魂。』

読み下し：衆を得れば天を動かし、意を美しましむれば年を延ばし、誠信なれば神の如く、夸誕なれば魂を逐ふ。

通釈：民衆の心をしっかりつかめばおのずから大自然をも動かすことができ、心を楽しませて、つまらぬ事にくよくよしなければおのずから長寿を保つことができ、誠実であれば神明のように万事に通達することができ、大言壮語すれば精神を喪失して何事も功を収めることができない。

語釈：「美」は楽に同じで、楽しむ、楽ませる意。「意」は心。「延年」は寿命を延ばす意で、長生きをすること。「夸誕」は大言壮語の意。「意を美しましむれば年を延ばす」と訓読する。

一言：令和2年をこの四字熟語のような気持ちで暮らせたらいいなと思っています。

参照文献：新釈漢文大系「荀子」 岩波書店「四字熟語辞典」